

# 令和4年度 吉岡町社会福祉協議会 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## I. 社会福祉事業 i. 地域福祉事業拠点区分

### 1. 法人運営事業サービス区分

#### 1.) 会員加入状況

年 度	世帯数	一般会員 世帯数	一般会員 納入金額	納入割合
令和 2年度	8,142	6,103	6,103,000円	75.0%
令和 3年度	8,327	6,166	6,166,000円	74.0%
令和 4年度	8,547	6,347	6,347,000円	74.3%

年 度	賛助会員数	賛助会費	特別会員	特別会費	団体会員	団体会費
令和 2年度	36人	185,000円	25法人	125,000円	2団体	60,000円
令和 3年度	35人	180,000円	23法人	120,000円	2団体	60,000円
令和 4年度	33人	175,000円	26法人	135,000円	2団体	60,000円

#### 2.) 役員会・評議員会開催状況

##### 役員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
4. 5. 27	11	12	承認第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(決算月)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会傾聴ボランティア派遣事業実施要綱の制定について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会指定介護予防支援事業所運営規程の制定について 議案第5号 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会(居宅介護及び重度訪問介護)運営規程の一部改正について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について 議案第7号 吉岡町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 議案第8号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 議案第9号 吉岡町社会福祉協議会苦情対応第三者委員の選任について 議案第10号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
4. 7. 15	10	12	承認第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
4. 8. 1	9	12	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会会長の選定について

4. 9. 16	11	12	議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
4. 12. 2	9	12	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について 議案第2号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
4. 12. 8	11	12	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会副会長の選定について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会苦情対応第三者委員の選任について
5. 2. 24	12	12	議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第5号)について 議案第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会臨時職員取扱要綱の一部改正について 議案第5号 吉岡町社会福祉協議会認知症カフェ事業実施要綱の制定について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会移動カフェ車両貸出しに関する要綱の制定について 議案第7号 吉岡町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 議案第8号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について

### 評議員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
4. 6. 17	20	20	承認第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第7号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 承認第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(決算月)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について
4. 7. 28	19	20	承認第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)について
4. 9. 29	19	20	議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会役員を選任について
4. 12. 8	20	20	議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会役員を選任について
5. 3. 16	18	20	議案第1号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第5号)について 議案第2号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和5年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について

## 2. 地域福祉事業サービス区分

### 1.) 地域担当制『地域つなげる!!つながる!!社協マン』

#### (1) 事業概要

町内13自治会に、地区担当としてそれぞれ職員を2～3人ずつ振り分け、担当地域の状況を把握し、身近な相談役として、第2期吉岡町地域福祉計画・第2期吉岡町地域福祉活動計画に基づき、「社協の見える化」「地域課題の発掘」「支え合い・助け合いの仕組みづくり」による地域福祉の推進を地域住民とともに図った。

#### (2) 事業結果

- ・自治会会議への出席 15件
- ・自治会行事への出席 3件
- ・民生委員との連携 0件
- ・サロン、筋トレへの参加 1件
- ・その他 5件

#### 【感想・反省・目標】

令和元年頃から令和4年度事業期間にかけて新型コロナウイルスの影響により自治会自体が活動やイベントを縮小し、社協職員も参加機会が極端に減ってしまい、できる範囲での地域支援（見守り活動・地域ごとの課題の把握及び支援）を行い継続してきた。令和5年度ではコロナ警戒が緩和されたので、積極的に自治会の集会所やサロン・イベント会場に向き、気楽に何でも相談できる場を設け、今の声に耳を傾け積極的に活動を行いたい。なお、社協職員での対応が難しい場合は専門機関と連携をし、課題克服したい。

### 2.) 福祉ネットワーク推進事業

#### (1) 事業概要

超高齢社会、核家族が進む中、高齢者及び障がい者等援護を必要とする者への地域ぐるみの援護システム作りを目的とし、各自治会単位で交流事業や見守り活動を実施した。

#### (2) 事業結果

##### ①助成金

吉岡町13自治会に対し令和4年度活動助成金支出	2年度	3年度	4年度
会費収入	1,398,820円	1,402,360円	879,228円
町補助金収入	520,000円	520,000円	520,000円
共同募金配分金収入			520,000円
事業費	1,918,820円	1,922,360円	1,919,228円

##### ②福祉ネットワーク連絡協議会宿泊研修

実施日：令和4年12月8日(木)～9日(金)

会場：伊香保温泉 ホテル天坊

勉強会：〈講演〉

榛東村社会福祉協議会「住民支え合いづくりについて」

〈意見交換会〉

「各自治会の福祉ネットワーク事業の取り組み発表及び意見交換」

参加者：福祉ネットワーク会長 10名、社協理事・監事 9名、役場 2名、事務局 3名

##### ③見守り体制づくり援助

実施日 令和4年4月24日(日) 寺下自治会役員会議

令和4年5月22日(日) 寺下自治会福祉委員会

令和4年5月26日(木) 吉岡町自治会連合会定例会

令和4年6月5日(日) 駒寄自治会理事会

令和4年8月7日(日) 駒寄福祉ネットワーク役員会

内容：事業説明。例を示しながら地域における見守りの重要性を伝えた。

④コロナ感染対策物品購入支援

コロナ禍により、福祉ネットワーク事業として実施していた高齢者慰安会や世代間交流会等の集いの場実施困難にあたり、見守りを目的としたコロナ対策用品の配布を認め、一部物品の手配の支援を行った。また、配布のみではなく、地域における日々の見守り活動にいたしていただけるよう依頼する。

⑤要援護者支え合いマップ作成

日頃の見守りを土台に、要援護者や支援者などをマップに落とし込み視覚的に地域の状況を把握する「要援護者支え合いマップ」を作成するにあたり、福祉ネットワーク連絡協議会宿泊研修にて福祉ネットワーク会長に、事業意義・必要性を伝えた。地域で進めていくため、ネットワーク会長に進め方手順を相談したり、現在の見守り状況を確認し、準備を進めた。今後はモデル地区を定め、進めていきたい。

3.) 社会を明るくする大会

(1) 事業概要

社会を明るくする運動の一環として、青少年問題の現状と課題を明らかにして、青少年健全育成の推進に、町更生保護女性会及び保護司会と協力して実施した。

(2) 事業結果 (コロナ禍の影響により、規模を縮小して実施した。)

- ・実施日 伝達式：令和4年7月1日、のぼり旗設置：6月30日
- ・会場 役場及び町内
- ・内容 ア. 町長へ法務省提唱のメッセージ伝達  
イ. のぼり旗の設置による啓発活動

	2年度	3年度	4年度
会費収入	0円	42,489円	8,408円
事業費	0円	42,489円	8,408円

4.) 障がい児・者交流事業

(1) 事業概要

町内在住、在勤の身体・知的・精神障がい児・者とその家族を対象に、交流を図り、仲間づくりの場となることを目的に老人福祉センターを開放した事業等を実施した。

(2) 事業結果

○ポッチャ体験教室

- ・実施日 令和4年11月5日(土)
- ・参加者 8人 他(付添者5人、協力者2人)

	2年度	3年度	4年度
会費収入	0円	0円	17,353円
事業費	0円	0円	17,353円

5.) シルバーカー購入費補助金交付事業

(1) 事業概要

高齢者の歩行の補助としてシルバーカーを購入した場合、購入費の一部を補助し、費用負担の軽減と日常生活の利便を図ることを目的に実施した。

(2) 事業結果

- ・交付決定者 2人(3年度：9人、2年度：5人)

	2年度	3年度	4年度
会費収入	25,000円	45,000円	10,000円
事業費	25,000円	45,000円	10,000円

## 6.) 高齢者交通安全活動推進事業

### (1) 事業概要

高齢者の交通事故防止や振り込め詐欺、悪質商法被害等から高齢者を守ることを目的とした講話を実施した。今回は防災にも目を向け、いざという時のため、町の防災専門員による防災講話も実施した。

### (2) 事業結果

- ・実施日 令和4年11月7日(月)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 43人(3年度:43人、2年度:51人)
- ・内容 災害に対する意識付け、家庭でできる災害対策の説明、詐欺の手口や町・県の状況などの紹介。

	2年度	3年度	4年度
会費収入	6,400円	9,500円	4,886円
事業費	6,400円	9,500円	4,886円

## 7.) 老人福祉センター開放事業

### (1) 事業概要

老人福祉センターを開放し、この施設や社協の業務内容のPRを図りながら、地域住民が気軽に参加できる事業を行うことにより、コミュニケーションが図られ、より良い吉岡町を創造して行くことを目的に実施した。

### (2) 事業結果

- ・実施日
  - 5月28日(一般向け演劇”夕鶴”公演:定員50人) 観覧人数45人
  - 8月4日(小学生向け習字教室) 参加人数8人
  - 7月27日(小学生向けポスター教室) 参加人数8人

	2年度	3年度	4年度
会費収入	0円	10,000円	20,800円
事業費	0円	10,000円	20,800円

## 8.) 社協×SDGs SDGsでエコ生活 ～『もったいない』を『ありがとう』に～

### (1) 事業概要

隔年で行っていた福祉バザーを見直し、コロナ禍も考慮した形に変えて、よしおかふるさと祭りと同日に開催。食品ロスやごみを削減して、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献するため、各家庭で眠っている食品や日用品等のリユースを展開した。また、社会福祉協議会、地域包括支援センター、老人福祉センター、ボランティアセンターのPRの場とし、併せて福祉団体の紹介を行った。

### (2) 事業結果

- ・実施日 令和4年10月9日(日)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・SDGs寄付協力者 109人
- ・SDGs回収個数 1,077個
- ・SDGsお渡し世帯数 148世帯 その他、子育て支援団体(こども食堂)へ寄贈

	4年度
会費収入	23,757円
事業費	23,757円

## 9.) 制服等リユース事業

### (1) 事業概要

卒業や成長で不要になった制服、体操着、体育館シューズ等を住民から回収し、それらを必要とする住民に配布することで、子育て家庭への経済的負担の軽減と資源の有効活用の促進を図った。

### (2) 事業結果

- ・お渡し会実施日 令和4年12月3日(土)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・寄付申出者 42名(リユース品:207点)
- ・引渡人数 41名

	4年度
会費収入	4,940円
事業費	4,940円

## 10.) 職員出前講座

### (1) 事業概要

地域のふれあい・いきいきサロン会場や介護予防事業会場において、福祉や介護予防について理解を深め地域住民の生活に役立ててもらうことを目的に、職員の持っている知識や特技を生かした講座を行った。

### (2) 事業結果

- ・実施会場 17会場 (3年度：8会場、2年度：9会場)
- ・参加延人数 254人 (3年度：116人、2年度：104人)

## 11.) 認知症カフェ事業

### (1) 事業概要

認知症の方やその家族、地域住民誰もが気軽に集い、楽しいひと時を過ごせるよう地域のボランティアの協力による「元気になるカフェ」を実施した。また、ボランティア（ささえ隊・もてなし隊）を対象とした座談会を実施し、カフェの充実を図った。さらに、認知症の方と家族が医療介護従事者や介護経験者と一緒にゆっくり過ごし、不安や心配事を語り合い理解し合い理解し合える居場所「22カフェ」を実施した。

### (2) 事業結果 ※ ( )内の3:は、3年度実績、2:は、2年度実績

#### ①デイサービスJAげんき喫茶室 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設

- ・実施回数 47回 (3: 28回、2: 28回)
- ・参加延人数 507人 (3: 286人、2: 229人)
- ・ボランティア延人数 140人 (3: 91人、2: 97人)

#### ②よしおか ROBAROBA (地域福祉交流施設) 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設

- ・実施回数 47回 (3: 28回、2: 28回)
- ・参加延人数 827人 (3: 412人、2: 466人)
- ・ボランティア延人数 185人 (3: 112人、2: 116人)

#### ③22カフェ 毎月22日 月1回 午後1時から3時まで開設

- ・実施回数 12回 (3: 9回、2: 6回)
- ・実施場所 よしおかROBAROBA
- ・参加延人数 43人 (3: 29人、2: 28人)
- ・協力者延人数 18人 (3: 12人、2: 5人)

#### ④元気になるカフェボランティア座談会

- ・実施日 令和4年8月29日
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 23人

#### ⑤夏休み！元気になるカフェ お手伝い体験企画 (小学5年生～中学3年生)

- ・実施回数 0回 (コロナ禍により開催中止)
- ・参加延人数 0人

### 【今後の目標等】

「カフェ車両TEKUTEKU」を活用し、それぞれの地域の方が参加しやすい移動型の元気になるカフェを実施。認知症になっても安心して地域で生活できる温かい地域づくりを目指して、地域との繋がりや人と話す機会を増やす。

	2年度	3年度	4年度
会費収入	—	245,417円	241,787円
寄附金収入	—	99,000円	—
積立資産取崩収入	164,227円	—	—
事業費	164,227円	344,417円	241,787円

## 12.) 移送サービス事業

### (1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方で、通院や買い物等への交通手段がない方を対象に、積極的に外出する機会を確保し、閉じこもり等にならないように介護予防を行い、在宅生活の継続を目的に移送サービスを実施した。

### (2) 事業結果

年度	登録人数	利用人数	利用延回数	利用券販売額
令和2年度	30人	22人	358回	9,000円
令和3年度	49人	33人	415回	0円
令和4年度	53人	29人	349回	0円

#### 【感想・反省・課題】

移送利用登録者数、利用回数の増加に対して、担い手となるボランティアが不足しており、新規ボランティアの確保が課題である。ボランティアの担い手の確保のため、ボランティアセンター、ホームページ、社協だよりにてボランティアの募集をしていく。

	2年度	3年度	4年度
前期未支払資金残高	700円	4,100円	0円
移送サービス事業収入	107,400円	124,500円	104,700円
事業費	104,000円	128,600円	78,829円

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)99,900円(R2.5.11~)

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)124,500円(年間助成)

## 13.) 福祉車両貸出事業

### (1) 事業概要

高齢又は障がい等により歩行が困難な方で車椅子を必要とする方に、リフト付自動車を貸出した。通院や買い物など日常生活の利便性を図ると共に、行事やレクリエーション等に積極的に参加する機会を確保した。(利用料：1kmあたり10円)

### (2) 事業結果

- ・貸出件数 38件(3年度：53件、2年度：45件)
- ・走行距離 1144.9km

車両	貸出回数	走行距離
ハイゼット	9回	416.0km
アトレー	6回	194.0km
シエンタ	23回	534.9km

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)104,700円(年間助成)

	2年度	3年度	4年度
福祉車両貸出事業収入	15,280円	14,992円	11,449円
事業費	15,280円	14,992円	11,449円

#### 【気づいたこと、利用者からの要望等】

- ・前年度に比べ貸出件数は減少。問い合わせや新規の利用が多かった印象があるが、繰り返し利用する方は数名にとどまった。施設への送迎や通院のために利用する方がほとんどであった。
- ・利用者からの要望として、通院先が複数あったり他に受診が必要になった場合に貸出回数が月2回では足りない、貸出回数を増やしてほしいという声が複数あった。

## 14.) 福祉機器及び器具備品等貸出事業

### (1) 事業概要

福祉機器は、高齢者や身体に障がいのある方及び傷病のため自宅にて療養中の方へ貸出し、器具備品は、自治会及び自治会に属する団体や福祉団体又は地域活動やボランティア活動を目的とするグループへ貸出しを行った。

### (2) 事業結果

- ・福祉機器 26件(3年度：15件、2年度：15件)
- ・器具備品等 7件(3年度：2件、2年度：7件)

	2年度	3年度	4年度
会費収入	0円	0円	0円
事業費	0円	0円	0円

## 15.) 生活福祉資金貸付事業

### (1) 事業概要

県社会福祉協議会が行う貸付事業の申込窓口として、低所得世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯からの申込相談に対応した。相談者の経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図り、その世帯の安定した生活を確保することを目的とした。また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象とした緊急小口資金等の特例貸付の相談・申請窓口として対応した。

### (2) 事業結果

・相談延件数（電話問合せ含む） 69件（3年度：156件、2年度：227件）

・貸付件数（令和5年3月31日現在）

総合支援資金 2 世帯  
福祉資金 1 世帯  
緊急小口資金 5 世帯  
教育支援資金 3 世帯

<特例貸付>

緊急小口資金特例貸付 15件  
総合支援資金特例貸付 4件  
総合支援資金特例貸付（延長） 0件  
総合支援資金特例貸付（再貸付） 0件

### 【経過・感想】

- ・特例貸付が開始された当初に比べ、令和4年度の相談件数、申請件数は落ち着いた。
- ・令和4年度の傾向としては、貯蓄を取り崩して今まで貸付を回避していたが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響でついに生活が苦しくなってしまったケースがみられた。また、貸付が終了した世帯からの問い合わせにより、継続して困窮状態にある様子が見受けられ、貸付が生活の改善・安定につながっていない現状を感じた。
- ・特例貸付の償還において猶予や非課税世帯であれば償還免除となり得るが、今後も生活困窮者自立相談支援事業と連携した対応をしていく必要がある。

	2年度	3年度	4年度
県社協受託金収入	982,000円	636,000円	527,500円
会費収入	0円	0円	0円
前年度繰越金	0円	180,962円	55,575円
事業費	801,038円	761,387円	336,786円

## 3. 日常生活自立支援事業サービス区分

### 1.) 日常生活自立支援事業

#### (1) 事業概要

基幹社協として、認知症や知的障がい及び精神障がいなどで判断能力が不十分な方が、地域自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用、日常的な金銭管理などの支援を行った。

#### (2) 事業結果

	新規契約件数	契約終了件数	契約件数	利用料助成対象者数
令和2年度	—	—	9人	6人
令和3年度	1人	2人	10人	6人
令和4年度	1人	1人	9人	7人

	2年度	3年度	4年度
助成金収入	—	1,192,000円	1,163,000円
県社協受託金収入	—	10,375円	13,750円
町補助金収入	9,625円	10,375円	13,750円
利用者収入	—	36,850円	38,500円
雑収入	—	3,960円	0円
事業費	9,625円	1,253,560円	1,229,000円



#### 4. 共同募金配分金事業サービス区分

##### 1.) 一般募金事業（一般募金配分事業）

###### ①新入学児童置き傘贈呈事業

###### (1) 事業概要

新入学児童に置き傘を贈呈した。

###### (2) 事業結果

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
明治小学校	117本（内5本予備）	117本（内5本予備）	114本（内5本予備）
駒寄小学校	158本（内5本予備）	153本（内5本予備）	141本（内5本予備）
社協予備		5本	

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	290,400円	290,400円	269,280円
事業費	290,400円	290,400円	269,280円

###### ②学童クラブ図書事業

###### (1) 事業概要

学童クラブ7か所において、図書の充実を図った。

###### (2) 事業結果

子ども向け書籍の購入。

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	70,655円	32,411円	33,193円
事業費	70,655円	32,411円	33,193円

###### ③避難訓練事業

###### (1) 事業概要

自治会で行われる避難訓練に合わせてボランティア協会の協力の下、炊き出し訓練を実施し、災害発生時に備えると共に防災倉庫内の防災用品の拡充を図り、いざという時に活用できるように、二つ折担架、毛布及び簡易トイレ等を自治会へ寄贈する。

###### (2) 事業結果

自治会からの要望はなかったが、老人福祉センターの防災倉庫内の防災用品として発電機を購入した。

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	132,209円	130,163円	99,880円
事業費	132,209円	130,163円	99,880円

###### ④創立45周年記念吉岡町社会福祉大会事業

###### (1) 事業概要

吉岡町社協の法人化45周年を迎え、着実に増加傾向が続いている高齢社会に向けて、吉岡町を永住の地として案心して生活できる福祉の町づくりを目指して、社会福祉大会を開催し、あわせて多年にわたり、社会福祉事業に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表す。

- ・実施日 令和4年9月19日(月)「敬老の日」
- ・会場 吉岡町文化センター
- ・受賞者 55人 2団体

	3年度	4年度
共同募金配分金収入	11,718円	84,354円
事業費	11,718円	84,354円

## 2.) 歳末たすけあい募金配分金事業 (地域福祉関連)

### ①ふれあい・いきいきサロン推進事業

#### (1) 事業概要

地域の中で孤独・閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子、障がい者や弱者などをつくらないという地域福祉の充実を図るため、福祉ネットワークが主体となり住民が中心となって小地域を単位としたふれあいの場を設け、自主的・自発的に行う交流事業に活動費の助成、外出支援や交流会を行った。令和3年度は、コロナ禍により外出支援、サロン活動共に各地区で自粛されていたが、令和4年度では、活動を再開し、外出支援の利用も増加した。

#### (2) 事業結果

##### ①運営・整備補助金交付

令和5年3月末現在  
 ・高齢者サロン 27会場  
 ・子育てサロン 1会場  
 ・共生型(複合型)サロン 0会場  
 合計28会場

(補助金交付未申請会場：高齢者サロン3会場、子育てサロン0会場、共生型(複合型)サロン1会場)

##### ②外出支援

・実施会場 10会場 (3年度：3会場、2年度：4会場)  
 ・参加人数 155人 (3年度：44人、2年度：59人)

##### ③ふれあい・いきいきサロン代表者交流会

・実施日 令和5年3月14日(火)  
 ・会場 吉岡町老人福祉センター  
 ・参加人数 29人(19サロン)  
 ・内容 情報交換(交流会)、サロンネタ紹介

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	684,336円	568,308円	663,625円
事業費	684,336円	568,308円	663,625円

### ②配食サービス事業

#### (1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者に対し、月曜日から金曜日まで(週5回)食事サービスを実施することにより、食生活の安定と健康保持に寄与し、更に対象者の安否確認と地域社会との交流を深めることを目的に実施した。

#### (2) 利用対象者

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等で、安否確認が必要で調理が困難な者とする。

#### (3) 事業結果 (週5回実施)

年度	利用者数	実施日数	延べ食数	利用券販売額
令和2年度	52人	243日	5,671食	209,400円
令和3年度	55人	242日	6,903食	0円
令和4年度	67人	243日	8,903食	0円

コロナ禍の影響により火・水・金のボランティア調理中止期間は、角藤のお弁当で対応した。

(8,9月で522食)

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	733,274円	1,205,627円	970,250円
負担金収入	1,701,300円	2,070,900円	2,457,000円
事業費	2,434,574円	3,276,527円	3,412,321円

〔うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)1,535,700円(R2.5.11~)〕

〔うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)2,070,900円(R3.4.1~R4.3.31)〕

〔うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)2,457,000円(R4.4.1~R5.3.31)〕

#### 【運営課題等】

利用希望者が増えているが、ボランティアの減少、高齢化により社協の配食ボランティア及びボランティア協会の負担が増えている。ボランティアを増やす必要があるが、配食の運営について考え直す必要がある。まずは、ボランティアの声を聴いて一緒に対策を考えていきたい。

### ③歳末時期事業

#### (1) 事業概要

福祉ネットワークの調査から上がってきた、ひとり暮らし高齢者、障がい者、及び高齢者二世帯を対象とし、年末年始にボランティア協会の協力を得て、地域住民からの声かけと見守りにより、慰労と安否確認を行った。

#### (2) 事業結果

- ・実施日 令和4年12月29日
- ・対象者数 59人 (3年度:69人、2年度:66人)
- ・内容 年越しセットの配食

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	160,991円	157,816円	137,806円
事業費	160,991円	157,816円	137,806円

- ・実施日 令和5年1月4日
- ・対象者数 55人 (3年度:68人、2年度:58人)
- ・内容 非常食セットの配布 (新年安否確認)

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	93,173円	97,164円	97,689円
事業費	93,173円	97,164円	97,689円

### ④歳末ささえ愛年越し食料配布事業

#### (1) 事業概要

コロナ禍で生活に困り支援を必要としている世帯に、新たな年を迎える時期に安心して暮らすことが出来るために年越し食料を配布する。特にコロナ禍の影響による減収や失業等による生活困窮者や社会的孤立の方に、食料の提供をつうじて支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができることを目的に実施した。

#### (2) 利用対象者

町内に居住し、生活にお困りで支援を必要としている世帯

#### (3) 事業結果

- ・配布期間 令和4年12月27日・28日・29日
- ・申請世帯 43世帯
- ・配布数 63セット

	3年度	4年度
共同募金配分金収入	77,491円	71,748円
事業費	77,491円	71,748円

#### 【感想・成果】

令和3年度新規事業として実施。緊急小口や総合資金、生活困窮で対応している方の申請より全く関わりのない方々からの申請が多かった。母子・父子世帯、高齢者世帯の割合も多かった。

食料を渡す際、「こんなにもらえるとは思ってなかった。子どもがいるので助かる。」などの声をいただいた。地域歳末たすけあい運動実施要項にも生活困窮者への支援事業の展開について記載があるように、今後も歳末募金を活用した本事業は実施していきたい。

### ⑤情報提供 (社協だより発行)

#### (1) 事業概要

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を目的に広報を発行した。

#### (2) 事業結果

- ・発行回数 3回
- ・発行部数 26, 220部

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	473,492円	502,000円	513,687円
事業費	473,492円	502,000円	513,687円

⑥家族介護者交流事業

(1) 事業概要

家庭で介護をしている介護者を対象に、同じ立場である介護者同士が集い、介護の悩みや心配ごとを話し合うことで、リフレッシュを図るための交流会を開催した。

(2) 事業結果

①アロマストーン教室

- ・実施日 令和4年9月9日(金)
- ・会場 よしおかROBAROBA
- ・参加人数 7人
- ・内容 アロマストーン作り、交流会、紙おむつの使い方について

②いちご狩り

- ・実施日 令和5年3月15日(水)
- ・会場 老人福祉センター、しずの苺園(高崎市)
- ・参加人数 8人
- ・内容 いちご狩り、交流会

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	24,820円	19,823円	41,904円
負担金収入	4,000円	3,000円	5,800円
事業費	28,820円	22,823円	47,704円

【感想・目標】

2回実施することができ、介護者がリフレッシュし介護者同士の情報交換の場を持つことができた。参加者が減少及び固定化しているところもあり、次年度に関しては周知に力を入れるとともに内容を見直し、新しい参加者を増やしていきたい。

⑦無料法律相談事業

(1) 事業概要

昨今の社会情勢に伴い、町民が抱える悩みごと等において、法律に係る解決困難な相談が増加している現状を考慮し、町民の皆様が少しでも不安を解消し、安心して生活できるように弁護士による無料の法律相談所を開設した。

(2) 事業結果

- ・開設日 毎月第2木曜日(年12回)
- ・相談時間 午後1時30分～4時の間 1人30分
- ・相談員 群馬弁護士会所属の弁護士
- ・相談件数 35件 (3年度:47件、2年度:39件)

・相談内訳(複数相談有り)

ア 家族について	3件	カ 事故について	2件
イ 財産について	12件	キ 医療について	1件
ウ 住宅について	1件	ク 人権・法律について	7件
エ 生計について	1件	ケ その他	5件
オ 離婚について	4件	合計	36件

	2年度	3年度	4年度
共同募金配分金収入	368,390円	368,390円	368,060円
事業費	368,390円	368,390円	368,060円

## 5. 受託事業サービス区分

### 1.) 敬老福祉大会

#### (1) 事業概要

町内の高齢者を一堂に招待し、慰安激励すると共に、結婚50周年を迎えられたご夫婦に金婚祝を実施した。また、4人以上の子供を養育し社会に貢献する親を表彰した。

#### (2) 事業結果

- ・実施日 令和4年9月19日(月)「敬老の日」
- ・会場 吉岡町文化センター
- ・参加人数 表彰者・招待者 185人

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	146,139円	501,653円	845,986円
事業費	146,139円	501,653円	845,986円

### 2.) ひとり暮らし保養事業

#### (1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者を孤独感から解放し、当事者同士の交流を深め、お互い助け合って地域で生活できるよう支援することを目的とし、実施した。

#### (2) 事業結果

- ・実施日 令和4年11月10・11日
- ・参加者数 76人
- ・内容 四万温泉/やまぐち館

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	0円	0円	1,056,557円
負担金収入	0円	0円	640,000円
事業費	0円	0円	1,696,557円

### 3.) 手話奉仕員養成研修事業(基礎課程)

#### (1) 事業概要

障害福祉の基礎、聴覚障害者活動及び関連する福祉制度等についての知識と日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成するため、厚生労働省の手話奉仕員養成講座(新)基礎カリキュラムに基づき講座を開催する。

#### (2) 事業結果

- ・実施回数 26回
- ・修了者 10人

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	0円	231,498円	331,461円
事業費	0円	231,498円	331,461円

### 4.) 障がい者のつどい事業

#### (1) 事業概要

町内に在住する障がいのある方もない方もが、一緒になって音楽を通じて交流を図ることを目的として新春コンサートを実施する。令和4年度もコロナウイルス感染症拡大の影響を受け3年連続で中止となったが、障がいの有無に関わらずアートを楽しんでもらう「みんなのアート展」を実施した。

#### (2) 事業結果

- ・協力団体 町内障害者の施設や事業所等・町内小中学校 18ヶ所
- ・展示期間 令和5年2月11日～19日
- ・作品数 約283点
- ・来場者数 約422人

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	0円	0円	34,000円
会費収入	0円	0円	17,100円
事業費	0円	0円	51,100円

### 5.) 介護予防・日常生活支援総合事業

#### ①一般介護予防事業

##### (1) 事業概要

65歳以上の方及びその支援のための活動に係わる方を対象に、介護状態にならないように、また、介護状態になった場合でも、それ以上に悪化させないための介護予防事業を実施した。

##### (2) 事業結果

##### ①介護予防・普及啓発事業

「社協だより」「社協ホームページ」に事業の開催について掲載した。また、各種福祉団体等にも介護予防事業の普及啓発を行った。

##### ◎老人福祉センターにおける介護予防教室

町内の65歳以上の全ての方を対象とし、専門職種(健康運動指導士)による運動教室を継続的に開催し、日常生活の安定と健康維持、高齢者同士の交流活動を目的に実施した。

※コロナ禍を考慮し、密を避けるため、人数制限を設けたり、2部制にしたり、感染対策を行った。

	はつらつ体操	げんきアップ体操	ニコニコ体操
実施回数	24回 3(24回) 2(19回)	24回 3(24回) 2(19回)	1回 — —
参加延人数	539人 3(519人) 2(464人)	255人 3(254人) 2(247人)	20人 — —

※( )脇の3は、3年度実績、2は、2年度実績

◎町民対象とした介護予防事業

介護予防教室「びんびんげんき教室」

- ・実施日 令和4年10月17日(月)、24日(月)、31日(月)、11月14日(月)、21日(月)
- ・会場 老人福祉センター ・参加人数 各20人前後
- ・内容 体力測定・簡単筋力トレ、お口のチェック体操、栄養、認知症予防

②地域介護予防活動支援事業

◎地域筋力トレーニング（※鬼石モデル筋力トレーニング実施）

町内 16ヶ所

◎社協職員による介護予防 出前講座

- ・実施回数 11回
- ・参加延人数 156人

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	212,971円	265,932円	273,050円
事業費	212,971円	265,932円	273,050円

6.) 地域支援事業・包括的支援・任意事業

①生活支援体制整備事業

(1) 事業概要

高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、地域における支え合いの体制づくりを目的とした、自分たちの地域の高齢福祉を考える場である第2層協議体を7月に発足し、定期的に第一の取組として新しい居場所の開設に向け動き出した。そして、協議体を分かりやすく知ってもらいたい・メンバーの増員をしたいという思いから記念講演会を開催するとともに、各協議体の通信を発行した。

(2) 事業結果

- ・生活支援コーディネーター「中部ブロック別情報交換会」参加 8回
- ・協議体設立に向けた住民向け勉強会 令和4年5月18日(水) 参加人数 19人
- ・協議体(第2層)
  - 明治地区協議体(わたげ隊) メンバー 10人 開催回数 5回
  - 駒寄地区協議体(ふれあい隊) メンバー 7人 開催回数 5回
- ・協議体発足記念講演会 令和5年3月18日(土) 参加人数 58人
- ・広報誌『わたげ通信』(明治)、『ふれあい通信』(駒寄) 毎戸配布
- ・広報よしおか掲載 1回

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	830,029円	638,171円	981,780円
事業費	830,029円	638,171円	981,780円

【感想・目標】

第2層協議体が発足し、まだ動き出したばかりであるが、新しい居場所に向け、記念講演会実施後加わった新しいメンバーとともに今以上に第2層協議体を盛り上げ居場所を各地域に設置していく。また、吉岡町全体の高齢福祉を考える場であり第2層協議体の後方支援機能をもつ第1層協議体の設置に向け町と協議していく。

②認知症サポーター養成講座

(1) 事業概要

認知症についての正しい知識を学び、地域で認知症の人を見守ることで、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていける地域づくりを目指すことを目的に地域住民や小学校4年生等を対象に講座・啓発を実施した。

(2) 事業結果

- ・養成講座
  - 実施回数 2回 (3年度: 5回、2年度: 2回)
  - 参加延人数 229人 (3年度: 369人、2年度: 156人)
- ・ステッカー配布 個人: 24人 企業: 0社

【感想・反省等】

令和4年度は認知症サポーター対象のステップアップ研修を実施した。また、一般町民向けの講座を吉岡町文化センターホールで大規模開催し、自治会関係者を始め、多くの町民に受講していただくことができた。今後、地域支援体制づくり強化をしていくことが重要だと感じた。

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	82,790円	102,555円	138,893円
寄附金収入	—	20,000円	20,000円
事業費	82,790円	122,555円	158,893円

## 7.) 地域福祉交流施設（よしおかROBAROBA）管理事業

### (1) 事業概要

地域住民の交流の促進及び福祉の増進を図るため設置された施設の貸館の受付及び維持管理（清掃）業務を行った。

### (2) 利用状況 ※（ ）脇の3は、3年度実績

	回数	人数
元気になるカフェ	47回	958人
22カフェ	12回	87人
ハートボラカフェ	12回	118人
学習支援	47回	435人
町スマホ教室	3回	50人
町eスポーツ講座打合せ	1回	5人
町eスポーツ講座	4回	50人
ケアマネサロン	1回	8人
家族介護者交流事業	1回	12人
町産業観光課 動画撮影	1回	9人
北毛地区社協委託包括の情報交換会	1回	12人
ケアマネcafeよしおか	1回	11人
計	131回 3(77回)	1,755人 3(909人)

	3年度	4年度
町受託金収入	112,864円	137,589円
事業費	112,864円	137,589円

## 8.) ボランティアセンター事業

### (1) 事業概要

地域共生社会の実現に向け、町民に分かりやすく情報を発信し、誰もが役割や生き甲斐、尊厳をもって活躍できる場とし、相談や受付、マッチング等を行う。地域福祉活動参加へのきっかけづくりに新たなボランティア活動の発掘、人材確保や担い手育成等の継続を促し、主体的・自主的に地域や社会のために活動できるボランティア支援を進める。ボランティア活動の周知と理解を深めるための講座や講習、体験事業の開催やボランティア活動が一層活発に展開されるよう、ボランティアポイント制度の充実を図る。

### (2) 実施結果

#### ① ボランティアセンター登録状況

- ・町内ボランティア団体 16団体 延人数 555人
- ・個人ボランティア

事業名	延登録者数	事業名	延登録者数
移送	17人	22カフェ	2人
配食	16人	サロン関係	8人
傾聴（準備中）	4人	その他災害等	3人
元気になるカフェ	48人		
合計		98人	

#### ② ボランティア活動保険加入状況

- ・加入者数 489人  
（内ボランティア活動助成事業（一人当たり保険料350円）193人）

#### ③ ボランティア養成講座

- ・シニア傾聴ボランティア養成講座  
令和4年9月8日・15日 2日間 参加者 10人

#### ④ ハートボラカフェ（ボランティアのためのカフェ） 毎月第2水曜日

- ・参加延人数 118人

#### ⑤ 令和5年度吉岡町ボランティアポイント事業導入に係る打合せ及び説明会

- ・団体説明会 令和5年3月20日（月） 参加者10人（8団体）
- ・個人登録説明会 令和5年3月27日（月） 参加者17人

	3年度	4年度
町受託金収入	343,868円	726,764円
手数料収入	0円	16,900円
事業費	343,868円	743,664円

### 【事業の課題等】

活動の担い手としての人材を育成するための講座や研修のほかボランティアを始めるきっかけづくり体験等の事業の開催があまりできていなかったため、ボランティア活動の促進につなげられるよう支援を進めていきたい。そして情報発信や情報提供を通じボランティア活動が地域の活性化にもつながるようにしていきたい。

## 9.)心の休憩所～tsubomi～事業

### (1) 事業概要

不登校やひきこもりのため、心に不安を抱え、学校や社会、外へ出ていくことが困難な当事者とその家族に対して、不登校・ひきこもりサポートコーディネーターによる傾聴セラピーの場を設け、抱える不安に寄り添いながら不安軽減を図り、ひとりひとりの安心できる外の世界、集いの場となることを目的とする。

### (2) 事業結果

・相談延件数 11件 (内訳：当事者11件 家族0件)

	4年度
町受託金収入	66,883円
事業費	66,883円

## 6. 善意銀行貸付事業サービス区分

### (1) 事業概要

低所得世帯の一時的な生活費や医療費等の生活資金の支出困難者に対して、必要な資金の貸付けを行い、低所得世帯の更生と福祉の増進を図ることを目的とし、事業を実施した。

### (2) 事業結果

・貸付 0件 (前年度実績：2件) 0円  
・援護費 行旅人 0件 (前年度実績：0件) 0円

## 7. 退職手当積立金事業サービス区分

### (1) 事業概要

全国社会福祉団体職員退職手当基金制度に退職積立金を行う。

### (2) 事業結果

・加入職員数 : 13人  
・掛金合計 : 44,782,170円 (令和5年3月31日現在)



## 8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分

### (1) 事業概要

平成18年4月から町の指定管理を受け、地域の高齢者の健康の増進、教養の向上及び高齢者の外出場所の確保や閉じこもり生活からの解放、高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいづくりを目的として、行こう！いこいの家八幡（自主事業）を実施した。

### (2) 事業結果

#### ・年間利用状況

年度	年間利用者数	年間開所日数	一日平均	利用料	備考
令和2年度	10,950人 (5,442人)	265日 (208日)	41.3人 (26.1人)	1,800円	年間 (4月、5月休館)
令和3年度	12,458人 (7,404人)	268日 (245日)	46.4人 (30.2人)	2,600円	年間
令和4年度	13,856人 (7,329人)	277日 (224日)	50.0人 (32.7人)	8,800円	年間

( )内は入浴利用者数

#### ①行こう！いこいの家八幡（自主事業）

高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいづくりとなることを目的として講演、教室、趣味の会を実施した。

#### ・お話しの会

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎月第3木曜日11:00～	わらべの会による読み聞かせ	12回	72人

#### ・教室等

実施日時	内容	参加人数
11月25日(金) 10:30～11:00	ヤクルト健康教室	11人

#### ・趣味の会 14ヶ所

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎週木曜日 10:00～11:30	つるし飾り作り	33回	132人
10月まで第1金曜日 11月～3月第1・3金曜日 13:30～15:30	編み物	13回	63人
毎月第2・4木曜日 13:30～15:30	かんたん絵画	24回	240人
毎月第1・3火曜日 10:00～11:30	フラダンス	23回	195人
毎月第1・3土曜日 10:00～12:00	踊り	22回	103人
毎月第1水曜日 10:00～11:30	茶道	9回	108人
第2・4水曜日 13:30～	大正琴	12回	67人
毎週金曜日 9:30～10:30	鬼石式筋トレ	50回	391人
毎日 14:00～	ラジオ体操	243回	2,259人

	2年度	3年度	4年度
前期末支払資金残高	2,140,892円	2,149,627円	1,756,792円
町受託金収入	21,005,000円	21,330,000円	20,428,000円
利用料等収入	875,076円	306,767円	285,472円
事業費	21,871,341円	22,029,602円	19,736,543円

#### 【現状・反省・今後の意向】

現状としては、年々利用者が減少してきている。昨年度はコロナの影響もあり自主事業が少なくなってしまった、令和5年5月よりコロナ警戒も緩和されるので、時期に合わせた自主事業を検討するとともに、センター臨時職員4名と1～2ヶ月の間に1回程度、運営検討会議を開催し利用者の状況及び要望等を把握し、利用者や地域住民の要望に適応した自主事業・サービスを提供していきたいと思う。

## 9. 学童クラブ管理事業サービス区分

### 1.) 学童クラブ指定管理事業

#### (1) 事業概要

平成23年4月以降、町から指定管理を受け、学童クラブ6箇所の運営管理を子ども子育て支援新制度を遵守し、放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定に努め、保護者が安心して預けられる環境整備を行い、家庭と学校との連携を図りつつ保護者の意見が反映されるよう運営に努めた。

(2) 事業結果(令和4年4月～令和5年3月) ※ ( ) 協の3は、3年度実績、2は、2年度実績

#### 明治小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
明治学童クラブ (定員70人) ※1	58人	0人	284日	5,005人	18人
			3(292日)	3(7,652人)	3(26人)
			2(275日)	2(6,505人)	2(24人)
			233日	4,411人	19人
明治第2学童クラブ 榛名 (定員80人) ※1 【旧明治第2学童 定員15人】	72人	0人	241日	6,342人	26人
			3(240日)	3(3,441人)	3(14人)
			2(236日)	2(3,072人)	2(13人)
			238日	6,054人	25人
明治第2学童クラブ 赤城 (定員80人) ※1 【旧中央学童 定員60人】	72人	0人	288日	6,347人	22人
			3(238日)	3(5,722人)	3(24人)
			2(233日)	2(5,456人)	2(23人)
			240日	6,245人	26人
合 計	202人 3(163人)	0人 3(9人)		34,404人	
				3(29,668人)	

#### 駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第1学童クラブ (定員75人) ※1	79人	0人	254日	7,443人	29人
			3(254日)	3(7,206人)	3(28人)
			2(240日)	2(5,966人)	2(25人)
			228日	6,295人	28人
駒寄第2学童クラブ (定員75人) ※1	79人	0人	241日	7,945人	33人
			3(229日)	3(7,691人)	3(33人)
			(212日)	2(5,838人)	2(28人)
			204日	6,209人	30人
駒寄第3学童クラブ (定員90人) ※1	89人	2人	254日	7,306人	29人
			3(254日)	3(7,535人)	3(29人)
			2(257日)	2(6,290人)	2(24人)
			236日	6,486人	27人
合 計	247人 3(235人)	2人 3(0人)		41,684人	
				3(41,839人)	

※1 (支援単位) 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により1支援単位を構成する児童の数(集団の規模)は、概ね40人以下となっているため2班に班別し、上・下段で表記。

注：平成27年度から子ども子育て支援新制度により定員基準が概ね40人となった。それ以前は70人。

○ 待機児童は、駒寄小学校区で4年生2人、令和5年5月以降は0人。

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	20,562,687円	21,736,170円	23,354,592円
学童保育料収入	21,197,000円	33,118,000円	37,044,500円
事業費	41,759,687円	54,854,170円	60,399,092円

## 2.) 学童クラブ運営補助事業

### (1) 事業概要

待機児童対策として令和3年4月に新規に駒寄第4学童クラブ(15人定員)を業務委託にて開設した。

### (2) 事業結果(令和4年4月～令和5年3月) ※ ( ) 脇の3は、3年度実績

駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第4学童クラブ (定員20人)	30人	0人	240日	5,280人 3(3,771人)	22人 3(15人)
	3(19人)	3(0人)			

	2年度	3年度	4年度
町補助金収入	1,027,702円	5,142,225円	4,251,973円
学童保育料収入	—	1,725,000円	2,548,500円
事業費	1,027,702円	6,867,225円	6,800,473円

## I. 社会福祉事業 ii. 介護保険事業拠点区分

### 1. 介護保険事業サービス区分

#### 1.) 居宅介護サービス

##### (1) 事業概要

ホームヘルパーが障がいのある方の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス。

##### (2) 事業結果

障がい者 訪問介護集計表

年度	人数	訪問回数	利用時間	居宅介護給付費
令和2年度	8人	956回	1,030.5h	1,931,110円
令和3年度	7人	945回	975.5h	1,974,670円
令和4年度	8人	1,063回	1,089.0h	2,280,980円

#### 2.) 訪問介護事業

##### (1) 事業概要

ホームヘルパーが利用者の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、介護保険法に基づくサービス。

##### (2) 事業結果

訪問介護集計表

年度	人数	介護総時間	身体介護	生活援助	身体生活	報酬総額
令和2年度	374人	3,912.25h	483.00h	2,324.50h	1,104.75h	12,082,391円
令和3年度	497人	4,835.75h	803.00h	2,486.75h	1,546.00h	15,426,367円
令和4年度	466人	4,063.25h	559.50h	2,461.25h	1,042.50h	12,675,417円

介護予防・日常生活支援総合事業集計表

年度	人数	訪問時間	報酬総額
令和2年度	244人	1,521.00h	5,016,488円
令和3年度	225人	1,291.00h	4,265,742円
令和4年度	236人	1,277.00h	4,277,260円

### 3.) 吉岡町移動支援事業

#### (1) 事業概要

ホームヘルパーが居宅に訪問し、屋外での移動に困難がある障がい者に対して、外出のための支援を行う、吉岡町が実施主体の事業。

#### (2) 事業結果

移動支援事業集計表

年度	人数	訪問時間	町負担額
令和2年度	1人	26.0h	119,600円
令和3年度	2人	32.5h	125,500円
令和4年度	1人	20.5h	59,800円

#### 【感想・反省】

・訪問介護報酬は、数年前から利用者数と訪問時間数の減少により減収傾向にある。令和2年度、3年度はコロナ禍での利用控え等による訪問時間数の減少で増減を繰り返した。令和4年度もコロナウイルス感染症の影響があり利用者数、訪問時間数を増やすことができなかった。引き続き営業努力を行い利用者数を増やし、ヘルパーの人材確保と質の向上に努め、良質なサービスの提供に努めたい。

	2年度	3年度	4年度
前期末資金残高	898,393円	229,603円	1,163,781円
事業活動による収入	19,149,589円	21,792,279円	19,293,457円
積立資産取崩収入	520,000円	0円	650,000円
補助金収入	300,000円	0円	0円
総事業費	20,638,379円	20,858,101円	20,218,503円

## II. 公益事業 i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点区分

### 1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

#### (1) 事業概要

平成28年、県社協からの委託事業として、県内8町村社協に相談支援員が配置された。

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施やその他の支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業等に伴う収入の減少により、住居確保給付金の制度利用の相談・申請窓口となった。

#### (2) 事業結果

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	220	213	127
支援件数	121	123	88
申込件数	74	68	16
支援調整会議	0	3	0
ケース会議	0	0	0
プラン策定	0	0	10
継続支援	13	10	16

#### 【気づいたこと等】

前年度に比べ相談件数は減少傾向であった。住居確保給付金申請については、コロナの影響による離職等の申請理由がほとんどだが、申請件数自体も減少した。給付期間中に増収し終了となるケースも数件あり、コロナ関連での相談はピーク時より落ち着きがみられた。継続して困窮状態にあるケースもあるため関係機関と連携し対応が必要と感じた。

#### ◎住居確保給付金申請

- ・相談対応件数 92件（前年度：354件）
- ・給付申請者数 6件（前年度：18件）
- ・給付金額 1,565,200円（延長・再延長含む）（前年度：7,538,100円）

	2年度	3年度	4年度
県社協受託金収入	6,132,375円	4,866,375円	4,551,000円
事業費	6,132,375円	4,866,375円	4,551,000円

## II. 公益事業 ii. 成年後見制度事業拠点区分

### 1. 成年後見制度事業サービス区分

(1) 事業概要

認知症、知的障害、その他の精神上の障害により、物事を判断する能力が不十分な人の権利を守り、安心して暮らしていけるよう、関係機関との連携を強化し、成年後見制度の利用を促進し、町民の権利支援をすることを目的とし、町から委託され設置している。

中核機関として「相談支援事業」、「普及啓発事業」、「利用促進事業」、「関係機関との連携」、「後見人等支援事業」を行う。

(2) 事業結果

・相談延件数 65件 (うち初回相談 11件)

相談内容延件数 ( )は初回相談 (重複あり)

相談内容	法定後見	任意後見	身元保証	相談・遺言	※その他	計
件数	52件 (9件)	2件 (1件)	26件 (2件)	7件 (1件)	11件 (3件)	98件 (16件)

※その他・・・日常生活自立支援事業やNPO法人等による金銭管理事業

	3年度	4年度
町受託金収入	74,783円	135,498円
事業費	74,783円	135,498円

## II. 公益事業 iii. 地域包括支援センター事業拠点区分

### 1. 地域包括支援センター事業サービス区分

(1) 事業概要

高齢者の心身の健康の維持及び生活の安定の為に必要な支援を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、町から委託され設置している。医療・福祉の専門職がチームで業務を行っている。

(2) 事業結果 ※ ( )は、前年度実績

①総合相談支援業務

・新規相談件数 159件 (177件)  
 ・総合相談延件数 2,606件 (2,972件)  
 ・実態把握訪問件数 40件 (94件)

他のすべての業務の入り口であり、地域包括支援センター事業実施のための基盤的役割を果たすものである。また、実態把握とは、支援が必要な人を発見するとともに地域ごとの課題やニーズを把握することである。過去に実施した町のアンケート調査において、包括への情報提供に同意をいただいた65歳以上の方で、うつ傾向と閉じこもり傾向の両方に該当する方を対象に実態把握訪問を行い、件数は一昨年並みになった。来年度は新しいアンケート調査に基づき実態把握訪問を行っていく。

②権利擁護業務

・高齢者虐待相談件数 2件 (1件)  
 ・成年後見相談件数 18件 (9件)  
 ・消費者被害相談件数 7件 (2件)

人権・権利擁護を目的として積極的介入支援をおこない、自己決定に基づく契約が十分でない人の権利をまもることである。成年後見相談件数は昨年度の2倍に増え、昨年度社協内に設置された「成年後見支援センター」へ繋ぎ連携をとりながら相談対応を行っている。また、高齢者虐待相談件数は2件あり、町や関係機関とも連携した支援、渋川警察署生活安全課と連携した虐待防止担当者会議の実施、高齢者虐待及び消費者被害防止の周知に力を入れた。

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

・ケアマネ支援件数	178件 (178件)
・ケアマネ情報交換会 (Web、現地参加のハイブリッド方式)	1回 (1回)
・ケアマネcaféよしおか (町内/町内外居宅介護支援事業所)	2回 (-)
・地域ケア会議 (個別)	4回 (4回)
・地域ケア会議 (地域課題を考える)	1回 (-)
・社会福祉協議会 地域包括支援センター情報交換会	2回 (-)

介護保険制度の理念である自立支援・利用者本人本位・法令遵守し、介護支援計画書作成に必要な知識と技術を向上させ、生活課題を有する方々が必要な社会資源と結びつくよう関係機関と連携した。ケアマネジャー同士の情報交換や横のつながりづくりを支援するため、町内居宅ケアマネジャーとの集いと町内・外近隣居宅のケアマネジャー同士が自由に参加できるカフェを開催した。

④在宅医療介護連携推進事業

・渋川地区在宅医療介護連携支援センター会議	15回 (16回)
・渋川地区在宅医療介護連携支援センター講演会等協力	10回 (14回)

渋川地区在宅医療介護連携支援センターと協同し、渋川地区 (渋川市・榛東村・吉岡町) の医療と介護連携に努め、地域包括ケアシステムの構築を目指す。月1回の調整会議に参加し、情報を共有し、講演会等の開催協力や周知活動を行っている。

⑤認知症総合支援事業

・認知症初期集中支援チーム支援件数	0件 (1件)
-------------------	---------

認知症初期集中支援チームは、認知症で困っている方やその家族に対し支援を行う。認知症地域支援推進員は、認知症になっても住みやすい地域を作る支援を行うために認知症カフェの運営協力、認知症サポーター座談会やステップアップ研修を社協の認知症地域支援推進員とともにに行った。「認知症ケアパス」は「吉岡町認知症あんしんガイド」へ名称等変更し、関係機関や町内医療機関、認知症の家族等へ周知した。包括職員が訪問や相談対応での気づきを社協と共有し事業を進めた。

⑥介護予防支援業務

・要支援者延人数	2,301人 (2,079人)
・プラン作成延件数	1,031件 (893件)
(内、委託件数)	488件 (387件)

要支援1・2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるようなケアプランの作成やサービス事業所との連絡・調整等を行う。業務を見直し居宅介護支援事業所に委託を増やすようにしたため、委託割合は47.3% (前年比4%増) 委託件数月平均8件増加した。

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	23,645,144円	19,546,412円	18,606,962円
介護報酬収入	3,931,520円	4,116,570円	4,704,780円
補助金収入	145,000円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円
事業費	27,721,664円	23,662,982円	23,311,742円

⑦地域支援事業 (介護予防ケアマネジメント)

・事業対象者延人数	141人 (153人)
・プラン等作成延件数	524件 (494件)
(内、委託件数)	162件 (66件)

「総合事業」における「介護予防・生活支援サービス事業」の中に位置づけられており、要支援者の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要なケアをマネジメントする。利用者の増加と、業務を見直し居宅介護支援事業所に委託を増やすようにしたため、委託割合は30.9% (前年比17.6%増) 委託件数月平均8件増加した。

【総合的見解】

地域とのつながりを強化、サービスに繋がっていない方の支援を充実させるため業務を見直した。今後も専門職が地域へ出て専門性を活かした相談対応ができるよう取り組んでいく。また、個別の相談などから地域の課題を把握していくことに努めたが、今後はさらに把握した課題の解決に向け様々な機関と連携していく。

	2年度	3年度	4年度
町受託金収入	3,379,192円	4,495,285円	4,794,432円
介護報酬収入	2,541,080円	2,226,240円	2,421,120円
事業費	5,920,272円	6,721,525円	7,215,552円

## その他の事業

### 1. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務

#### 1.) 一般募金（赤い羽根共同募金）

11月4日から町内全世帯に自治会を通してチラシ等を配布し、募金趣旨の啓発、募金の協力を呼びかけた。（コロナ禍を受け、自治会負担軽減のため、歳末たすけあい募金と同時に実施した。）

年度	戸別募金			学校・イベント募金	合計	
	協力世帯数	募金額	納入率		募金額	前年度比
令和2年度	5,958世帯	2,387,300円	72.5%	79,406円	2,466,706円	102.9%
令和3年度	5,807世帯	2,322,800円	68.9%	83,394円	2,406,194円	97.5%
令和4年度	6,004世帯	2,401,600円	69.2%	82,823円	2,484,423円	103.3%

#### 2.) 歳末たすけあい募金

11月4日から町内全世帯（生活保護及び施設入居者は除く）に自治会を通じて募金使途チラシ等を配布し、募金趣旨の啓発と募金の協力を呼びかけた。又、町内法人には高崎法人会吉岡地区会並びに、吉岡町商工会等を通じて募金趣旨を啓発、募金の協力を呼びかけ、更に民生児童委員・社協役職員による訪問を行い募金活動を実施した。（コロナ禍を受け、自治会負担軽減のため、一般募金（赤い羽根募金）と同時に実施した。）

年度	戸別募金			法人募金		
	協力世帯数	募金額	納入率	協力法人数	募金額	前年度比
令和2年度	5,981世帯	1,794,500円	72.7%	261法人	1,358,514円	100.6%
令和3年度	5,815世帯	1,744,500円	69.0%	272法人	1,382,235円	101.7%
令和4年度	6,019世帯	1,805,700円	69.3%	270法人	1,403,200円	101.5%

  

年度	団体募金		個人募金・その他		合計	
	協力法人数	募金額	協力者数	募金額	募金額	前年度比
令和2年度	1団体	30,000円	1人	10,000円	3,193,014円	102.0%
令和3年度	1団体	30,000円	3人	19,057円	3,175,792円	99.5%
令和4年度	1団体	30,000円	4人	91,000円	3,329,900円	105.0%

#### 3.) 支会運営委員会（H24. 8. 17 設立）

##### (1) 事業概要

県共募の定める諸計画に基づき、町内の地域福祉向上の推進のため、住民の参加を図り民意を十分に反映し共同募金運動を行うことを目的に設置する。

##### (2) 運営委員会開催状況

開催年月日	議 題
4. 5. 24	運営委員の選任について 副会長の選任について 監事の選任について 令和4年度 共同募金地域配分基準及び特別配分の制定について 令和4年度 吉岡町支会共同募金推進計画について 令和2年度 吉岡町支会共同募金推進計画の変更について
4. 9. 27	運営委員の選任について 支会長の選任について 令和4年度 共同募金運動実施について
5. 3. 3	運営委員の選任について 監事の選任について 吉岡町支会名称変更に伴う吉岡町支会会則の改正について 令和4年度 共同募金（5年度事業）配分申請書の審査について 令和4年度 吉岡町支会共同募金推進計画の変更について

## 2. 吉岡町民生委員児童委員協議会

平成27年4月、町から事務局が移管された。民生委員児童委員協議会の主な活動状況は以下のとおりだった。

- ・毎月1回 役員会、定例会開催。
- ・子育てサロンよしおか 4回（12月～） 参加延人数：保護者113人・子123人
- ・視察研修 令和4年6月8日/大泉町日本在住資料館、10月8日～17日卒業研修/四国方面
- ・各種研修会に参加

## 3. 各種福祉団体支援

団体支援の説明を記載

団体名	会員数	支援内容	補助金額
更生保護女性会	86人	社会を明るくする大会への協力支援（コロナ禍により中止もあり）	8,408円
老人クラブ連合会	409人	総会、県・会主催事業（クワッド大会、輪投げ大会）への協力支援（コロナ禍により中止もあり）	180,822円
ボランティア協会	115人	総会、会主催事業（環境美化等）、給食への協力支援、縫製活動の協力（コロナ禍により中止も）	220,000円
母子保護連盟	11人	総会、会主催事業への協力支援	0円
身体障がい者自立更生会	18人	総会、会主催事業（輪投げ大会、室内クワッド大会）への協力支援	72,000円
知的障がい児（者）親の会	6人	会議開催等への協力支援	0円
遺族会	90人	総会、護国神社（みたま祭・例大祭）、研修旅行、県戦没者追悼式への協力支援（コロナ禍により中止もあり）	84,000円

会計の区分一覧（ 経理規程第7条第4項 ）

当法人が設定する事業区分、拠点区分、サービス区分は下記のとおりとする。

事業区分 (大分類)	拠点区分 (中分類)	サービス区分 (小分類)
I. 社会福祉事業 P1～P20	i. 地域福祉事業拠点 P1～P17	1. 法人運営事業サービス区分 P1～P2
		2. 地域福祉事業サービス区分 P3～P8
		3. 日常生活自立支援事業サービス区分 P8
		4. 共同募金配分金事業サービス区分 P9～P12
		5. 受託事業サービス区分 P13～P16
		6. 善意銀行貸付事業サービス区分 P16
		7. 退職手当積立金事業サービス区分 P16
		8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分 P17
		9. 学童クラブ管理事業サービス区分 P18～P19
II. 公益事業 P20～P22	ii. 介護保険事業拠点 P19～P20	1. 介護保険事業サービス区分 P19～P20
	i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点 P20	1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分 P20
	ii. 成年後見制度事業拠点 P21	1. 成年後見制度事業サービス区分 P21
その他の事業 P23	iii. 地域包括支援センター事業拠点 P21～P22	1. 地域包括支援センター事業サービス区分 P21～P22
		1. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務 P23
		2. 吉岡町民生委員児童委員協議会 P23
3. 各種福祉団体支援 P23		